天龍中生徒会だより５号
2024 年 11 月 19 日

郡市連合音楽会リポート

皆さまいかがお過ごしでしょうか。最近、天龍村もめっきり寒くなってきました。今朝、通学路を歩いていると雑草に朝露がついているのを見つけました。季節の変化を身近に感じられるのも、天龍村の醍醐味だと思います。

今回は、11 月 6 日水曜日に開催された郡市連合音楽会、略して「郡音」についてお伝えします。郡音は、飯田・下伊那の小中学生が歌声を交換し合う音楽会です。2001 年から現在の小中合同の形になりました。

今回、天龍中学校からは全校生徒 9 名、天龍小学校からは 3～6 年生の 17 名が参加しました。中学生は優里の「ベテルギウス」を歌いました。短い練習期間でしたが、サビの強弱や感情の込め方をみんなで話し合い、本人の解説動画を参考にするなど、工夫して作り上げてきました。

本番、会場に着くと様々な学校の児童生徒が集まっていました。その数、11 校から 832 名。人数の多さに圧倒されました。私はステージに上がる直前まで心臓が早鐘のように鳴っていましたが、いざ前に立つと「あれ、意外といけそう！」と思いました。合唱は練習した成果を存分に発揮でき、天中生として多人数の前で歌うことができたことは、今後の自分にとって自信につながる出来事になりました。

また、他の学校の合唱もすばらしいものでした。それぞれの学校によって個性が出ていて、こんな歌い方もあるんだと勉強になりました。他校の合唱を聴くことはなかなか無かったので、いい経験になりました。これからの自分たちの合唱でも、今回学んだことを活かしていきたいです。

今回の写真は、郡音のステージで歌う私たちです。会場はとても広くて、やっぱり緊張しました。ステージからだと客席が見渡せるので、聴いている方一人一人に届くように精一杯歌いました。